

新庁舎建設市民会議から「新庁舎建設に関する提言書」が提出されました

登米市新庁舎建設に関する提言書

8月11日、登米市新庁舎建設市民会議から「新庁舎建設に関する提言書」が布施孝尚市長に提出されました。

市民会議では、市民の目線に立ちながら、現庁舎の抱える問題点や新庁舎建設の方向性を踏まえ、今後の市役所庁舎のあり方をどのように考えていくか議論しました。

提言書は、市が目指す理想の庁舎像や必要となる機能などについて定める「新庁舎建設基本計画」に反映されることとなります。

今号は、市民会議で議論された内容をお知らせします。



▲浅野委員長(左)から布施市長へ提言書を手渡しました

登米市新庁舎建設市民会議は、平成27年2月2日に発足。新庁舎の建設に市民皆さんのさまざまな意見や提案を反映させるため、学識経験者や公共団体の代表者、無作為抽出による市民からなる15人の委員で構成され、いろいろな角度から話し合われました。市民会議では、今後の計画に意見を反映させるため、新庁舎のあり方や機能、規模、場所などについて検討しました。委員の皆さんが率直な意見を発言できるように、ワークショップの手法を導入。全10回による市民会議の内容をまとめ、提言書を作成しました。

提言書の内容

●新庁舎の機能

【テーマ】「安心・安全・思いやりのある登米市らしさ」

【提言】市民と行政の一体を図り、まちづくりに生かすとともに、市民へ解放された建物であってほしい。防災機能はもちろん、ユニバーサルデザインなど全ての人に優しく、思いやりのある建物であってほしい。

① 思いやりのある建物

▼ユニバーサルデザインなど利用者に優しく利便性が高い
▼気軽に訪れ、市民交流ができるスペースがある

② 登米市らしさ

▼地元産材や自然エネルギーを活用
▼市の文化(漫画を含む)や歴史をPRできる

③ 対応力向上プログラム

▼ワンストップサービスによる利便性の向上

④ 防災機能の充実

▼災害対策本部としての十分な機能
▼耐震機能の充実

●新庁舎の規模

【テーマ】「職員と市民が一体となつて、登米市らしさをか

もしだせる、人に優しい庁舎」

【提言】市民が集まり、職員と市民が一緒になつてまちづくりを進めてほしい。効率的な機能の配置と時代背景や市民ニーズの変化に対応できるような規模であってほしい。

① 効率的な施設インフラ

▼自然エネルギーを活用した効率の良い建物
▼充電スタンドなどの燃料供給設備

② 市民と職員のパフォーマン

ス向上
▼市民サービスおよび執務室のネットワーキング環境
▼十分な会議室を設置

③ 市民交流が盛んになる施設

▼気軽に利用できる育児スペース
▼保育施設や図書館などを併設し、子育て支援および学習施設

④ 人に優しく、登米市らしさをPRできる

▼多目的トイレや気軽に利用できる休憩所
▼登米市の特産品をPRできる直売ブース

●新庁舎の場所

【テーマ】「現在(いま)そして未来へ」

【提言】費用対効果と、全ての利用者にとって利便性が高く、市のまちづくりを次の世代へ受け継ぐための庁舎・場



所であってほしい。人口集積や交通事情、市街化区域などの将来を予測し、総合計画をはじめとする各種計画との整合性を図りながら検討してほしい。

- ① 建設コストを抑えられる場所
- ▼費用対効果を考慮し、できるだけ事業費が抑えられる
- ② 利便性
- ▼買い物など、他の用件も同時に行える
- ▼病院、医療機関などへのアクセスが良い
- ③ 現在の市街地を中心
- ▼既に「にぎわい」が形成されている
- ▼地域活動が活発になり、地域経済の好循環が期待される

市民会議を終えて



Toshi Asano
委員長 浅野 俊さん(東和町)

新庁舎建設の検討に当たっては、登米市らしさや未来のまちづくりなどについて、共に考えを共有するため、委員の提案によりワークショップを導入し検討を進めてきました。

登米市は、自然環境や歴史、文化を継承しながら、それぞれの地域が特性を生かした魅力あるまちづくりを目指し、互いに力を合わせていくことが必要です。登米市を住み良い地域として次の世代に引き継ぐためには、市民・市および議会が、それぞれの持つ個性や能力を最大限に生かせるまちづくりの核となる庁舎が大切であると考えました。これまでの議論を踏まえ、登米市の新しいまちづくりには、新しい庁舎が必要であると強く感じました。建設コストなど、将来的な財政負担を考えると合併特例債の活用が有効であると考えています。

新庁舎建設を機に登米市のさらなる発展を期待します。

Information 02

石巻専修大学開放講座in登米

現在、日本では人口減少、少子高齢化問題に直面し「地方創生」が叫ばれています。地域づくり、地域活性化に向けて、地域に根ざした大学の果たす役割は重要になってきています。このため、本市と連携協定を締結している石巻専修大学から講師を迎え、地方創生や今後の地域づくりをテーマに市民向けの開放講座を開催します。皆さんのご来場をお待ちしています。

【日時】平成27年10月22日(木)、10月29日(木)、11月5日(木)、11月12日(木) / 午後6時30分～8時

【場所】中田生涯学習センター 学習室(中田町上沼字館43)

【テーマ】「登米から考える地方創生」

【募集範囲】高校生以上の市民(80人程度)

【参加費】無料

【申し込み方法】事前に名前、電話番号、参加人数を電話、メールまたはフアクシミリでお申し込みください。

【申し込み・問い合わせ】産業経済部ブランド戦略室

☎0220(34)2549

☎0220(34)2801

✉brand@city.tomeni.yagi.jp

Information 03

養育里親になりませんか

里親とは、何らかの事情で親と一緒に暮らすことができない子どもを、自らの家庭に迎え入れ、温かい雰囲気の中、愛情と真心を持って育ててくれる人をいいます。

実際に子どもを預かる期間は数日から数年までさまざまです。児童養護施設などに入所している子ども

を、夏休みや冬休みの数日間だけ預かることもできます。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(児童福祉係)

☎0220(58)5562

☎0220(58)5562

県東部児童相談所

☎0225(95)1121